



■写真上 5月14日、「原爆ドーム前集会ー市民の国際連帯で核兵器・原発・軍隊のない東アジアをつくろう」で発言するベローさん(左端のマイクをもった男性)

G7 広島サミットは核廃絶に全く触れることなく、核の抑止効果を確認しただけに終わりました。G7 広島サミットに反対する市民らが主催した「G7 広島サミットを問う集い」に、フィリピンの元下院議員でグローバル・サウスの市民運動を長年担ってきたウォルデン・ベローさんが参加しました。ベローさんは「台湾危機」を理由とする対中包囲網強化のため、米軍がフィリピン・沖縄・日本・韓国で活発に活動していることに警鐘を鳴らしています。横浜で講演集会を開催します。ぜひ、ご参加下さい。

6月11日(日)

ウォルデン・ベローさん講演集会

18時～ かながわ県民センター304会議室 (横浜駅西口下車徒歩5分)

その他の発言 池田五律 「自衛隊増強の軌跡と今後 2013-2023」

木元茂夫 「フィリピンに進出する自衛隊」 資料代 800 円

ウォルデンベローさん経歴 フィリピンのマルコス独裁体制との闘争に参加。「フォーカス・オン・ザ・グローバル・サウス」の代表として、APECやWTOに反対する世界的な反グローバリゼーション運動でも、理論・運動で活動。米中対立、世界的な右翼の台頭、気候変動問題、グローバル資本主義などについて発言。著書に『脱グローバル化』(戸田清訳、明石書店2004年)等。2010-15年にフィリピンの市民政党アクバヤンの代表として下院議員。

■主催:G7 いらない! 首都圏ネットワーク■ 連絡先:090-3909-9657



■写真上 バリカタン 23 米第3海兵師団第3海兵沿岸連隊第3沿岸戦闘部隊と第268中型ティルトローター飛行隊のMV-22B オスプレイがフィリピン海兵隊と3日間に及ぶ合同沿岸域作戦を実施。3週間に渡り水陸両用作戦、人道支援活動、市街戦演習、そして対テロ訓練も。

● フィリピン・中国・アメリカ・日本のこの間の動き ●

- 10月3日 フィリピンのルソン島で米比海兵隊との共同訓練に陸自水陸機動団と中央特殊武器防護隊・衛生隊が参加。
- 11月19日 習近平国家主席とハリス米副大統領がアジア太平洋経済協会(APEC)の開催国タイで会談
- 11月21日 米ハリス副大統領、フィリピンのパラワン島を訪問し、「南シナ海でフィリピンの軍や航空機、船舶が攻撃された場合には、米国は防衛力を発動する」と明言。
- 12月06日 航空自衛隊、戦後初めてフィリピンに戦闘機を派遣(クラーク空軍基地にF15を2機)
- 1月04日 フィリピンのマルコス大統領、中国を訪問し習近平主席と会談。中国が約3兆円の投資を約束したと発表。
- 4月03日 フィリピン大統領府が、米軍が使用できる基地の候補4カ所を発表。
- 4月11日 フィリピンで米比合同軍事演習バリカタン23がはじまる。過去最高の1万7600人が参加。うち、12,000人は米軍。
- 4月22日 中国の秦剛外相、フィリピンを訪問し、マナロ外相と会談。
- 4月30日 フィリピンのマルコス大統領、「フィリピンが巻き込まれるような形で挑発的な軍事行動の拠点として使われることは認めない」とワシントンへ向かう機内で記者団に断言。
- 5月01日 ワシントンで米比首脳会談。バイデン大統領は「(比は)世界で最も複雑な地政学的状況にある」と発言。米国がC130輸送機や巡視船を提供することを約束。
- 6月01日 フィリピンで、日米比の海上保安庁、沿岸警備隊が初めての共同訓練。